

## 第5章

# 計画の推進に当たって

### 第1節 推進体制

- 1 実効性の確保と点検・評価
- 2 市町村等との連携

### 第2節 推進指標

## 第1節 推進体制

### 1 実効性の確保と点検・評価

- 実効性のある教育政策を推進するためには、客観的な根拠に基づき、成果を検証し、より効果的・効率的な施策の立案に生かしていく必要があります。
- 本計画の実行に当たっては、PDCAサイクル\*1の考え方に基づき、施策推進のための「推進指標」を定め、毎年、各施策の進捗状況等の「点検・評価」を行って、その結果を次年度以降の施策の実施に反映させ、本計画の実効性を高めていきます。
- 本計画期間中においても、社会情勢や教育をめぐる状況等に大きな変化が生じた場合は、これらに対応するため、必要に応じて計画の見直しを行う柔軟な取扱いを行っていきます。

### 2 市町村等との連携

- 市町村においては、それぞれの地域の実情や課題に応じて、地域の特色を生かしつつ、工夫された教育活動が行われています。そのような市町村の取組と本計画の施策が呼応しながら、つながり合って更に効果を高め、県全体でよりよい教育が推進されるよう努めていくことが重要です。
- 学校においては、教職員が一体となり「チーム学校」として取り組む意識・姿勢が大切です。そのためには、県立学校はもとより市町村立学校においても、本計画についての理解と認識を深め、それぞれ必要な取組を着実に進めていく必要があります。
- また、家庭や地域の教育力の向上、企業やNPO・市民団体等の多様な主体（県民）が一体となった取組など、地域ぐるみの教育の推進等においても、県と市町村、県民が、宮崎県教育基本方針の理念の実現に向けて、連携・協働した取組を進めることが重要です。
- このため、県教育委員会は、今後とも、市町村教育委員会の取組を尊重しつつ、十分な意見交換等を行い、施策の推進を図っていきます。

---

\*1 PDCAサイクル：事業活動における管理業務を円滑に進める手法の一つ。Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Act（改善）の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する。

## 第2節 推進指標

- 本計画の実効性を高めるため、施策推進のための「推進指標」を設定します。この指標に基づき、毎年、各施策の取組の進捗状況等について「点検・評価」を行い、取組の工夫・改善を図りながら、計画の着実な推進に努めます。
- 目標値については、可能な限り高いものを求めて取り組むことが必要と考えていますが、現状値を踏まえ、実効性のある評価を行うために、令和8年度までに到達を目指すものとして設定しました。
- 「点検・評価」においては、指標の結果のみをもって目標の達成状況に係る全てを評価することが困難であることなどを十分留意し、当該指標の推移に加え、関連する情報や協議等を踏まえ、多角的な評価の推進に努めます。

### 基本目標1 多様性を認め合い、一人一人を大切にす教育の推進

施策	推進指標	現状値[年次]	目標値
施策1	いのちの尊さや大切さについて考えることのできる学校であると答えた児童生徒の割合 (みやぎきの教育に関する調査)	小 95.5% 中 93.3% 高 85.3% R4	小 96.5% 中 94.3% 高 86.3%
	先生や友達が自分や友達によさや違いを認めてくれるなど、人権が尊重されている学校になっていると答えた児童生徒の割合 (みやぎきの教育に関する調査)	小 92.1% 中 88.9% 高 87.7% R4	小 93.1% 中 90.9% 高 89.1%
	自分にはよいところがあると答えた児童生徒の割合 (みやぎきの教育に関する調査)	小 80.2% 中 79.2% 高 79.4% R4	小 83.2% 中 80.2% 高 82.1%
施策2	小・中・高等学校等の通常の学級において、個別の教育支援計画の作成を必要とする児童生徒のうち、実際に個別の教育支援計画が作成されている児童生徒の割合 (特別支援教育体制整備状況等調査・特別支援教育課調べ)	小 92.5% 中 89.1% 高 47.1% R4	小 100% 中 100% 高 100%
	特別支援学校高等部卒業生の就職率 (特別支援学校中学部・高等部卒業生の進路状況調査)	23.2% R4	31.0%
施策3	困りごとや不安があるときに先生や学校にいる大人に相談できると答えた児童生徒の割合 (みやぎきの教育に関する調査)	小 70.9% 中 69.2% 高 72.5% R4	小 73.0% 中 73.0% 高 73.0%
	不登校児童生徒のうち、学校内外の機関等で相談・指導等を受けている児童生徒の割合 (児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査)	小 54.1% 中 47.7% 高 68.6% R3	小 75.0% 中 75.0% 高 75.0%

## 基本目標2 次代へ向けて学び続ける子供たちを育む教育の推進

施策	推進指標	現状値[年次]	目標値
施策4	幼稚園・保育所・認定こども園の職員と小学校の教諭等が「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有して意見交換や合同の研修会等を行っている幼児教育・保育関係施設の割合 (こども政策課調べ)	65.9% R4	100%
	幼保小の接続を見通した教育課程の編成・実施を行っている幼児教育・保育関係施設の割合 (ステップ3、4の割合) (こども政策課調べ)	24.6% R4	100%
施策5	全国学力・学習状況調査における各教科の平均無解答率 (全国学力・学習状況調査)	小 3.0% 中 6.8% R4	小 2.0% 中 4.1%
	全国学力・学習状況調査における国語・算数(数学)の全国平均正答数との比較 $\frac{\text{本県平均正答数}}{\text{全国平均正答数}} \times 100$ (全国学力・学習状況調査)	小 97.4 中 95.9 R4	小 103.0 中 103.0
	国語・算数(数学)において授業の内容はよく分かると答えた児童生徒の割合 (全国学力・学習状況調査)	小 81.7% 中 74.5% R4	小 86.0% 中 83.0%
施策6	授業にICTを活用して指導する能力に関する項目で「できる」「ややできる」と答えた教員の割合 (学校における教育の情報化の実態等に関する調査)	71.2% R3	85.0%
	児童生徒のICT活用を指導する能力に関する項目で「できる」「ややできる」と答えた教員の割合 (学校における教育の情報化の実態等に関する調査)	72.5% R3	90.0%

### 基本目標3 ふるさとへの誇りと愛着を持ち、世界を視野に活躍する人材の育成

施策	推進指標	現状値[年次]	目標値
施策7	ふるさと学習に関して総合的な学習（探究）の時間等で地域素材や人材を活用した取組を行っている割合 学校の割合 （みやぎきの教育に関する調査）	96.6% R4	100%
	ふるさとが好きだと答えた児童生徒の割合 （みやぎきの教育に関する調査）	小 93.1% 中 88.0% 高 80.4% R4	小 95.0% 中 90.0% 高 90.0%
施策8	理科教育に関する大会等の参加数等 ① サイエンスコンクール作品応募数 ② 科学の甲子園・ジュニア全国大会順位 ③ 科学オリンピック参加者数 （義務教育課・高校教育課調べ）	① 17,621 ② 中 4位 高 21位 ③ 172人 R4	① 25,000 ② 中 10位以内 高 10位以内 ③ 300人
	県内高校生の留学者数（短期・長期留学） （高校教育課調べ）	61人 R4	300人
	4R活動（リサイクルなど）、地域の環境を守る（環境保全の）ための取組を心がけていると答えた児童生徒の割合 （みやぎきの教育に関する調査）	小 84.7% 中 76.9% 高 80.7% R4	小 90.0% 中 90.0% 高 90.0%
施策9	将来の夢や目標を持って職業や生き方を考えていると答えた中学3年生の割合 （みやぎきの教育に関する調査）	87.1% R4	90.0%
	県立高校生の県内就職率 （県立高校生の就職内定状況調査）	63.4% R4	70.0%

### 基本目標4 スポーツを生かした「未来のみやぎき」づくりの推進

施策	推進指標	現状値[年次]	目標値
施策10	運動・スポーツを週1回以上行っていると答えた県民の割合 （宮崎県県民意識調査）	50.6% R4	60.0%
	国民体育大会（国民スポーツ大会）の総合成績（都道府県）の順位 （競技力向上推進課調べ）	32位 R4	10位
施策11	全国体力・運動能力、運動習慣等調査における調査項目の県平均値が全国平均以上の割合 （全国体力・運動能力、運動習慣等調査）	67.6% R4	85.0%
	朝食を毎日食べると答えた児童生徒の割合 （全国体力・運動能力、運動習慣等調査）	小 80.6% 中 78.2% R4	小 85.0% 中 80.0%

## 基本目標5 生涯を通じて学び、文化を親しむ社会づくりの推進

施策	推進指標	現状値[年次]	目標値
施策12	日頃から生涯学習に取り組んでいると答えた 県民の割合 (宮崎県県民意識調査)	53.4% R4	60.0%
施策13	日頃から文化に親しんでいると答えた 県民の割合 (宮崎県県民意識調査)	70.6% R4	75.0%
	文化施設等の入館者等の人数 ① 県立美術館の年間入館者数及び講座等の受講者数 ② 県総合博物館の年間入館者数及び講座等の受講者数 ③ 県立西都原考古博物館の年間入館者数及び講座等の受講者数 (各館調べ)	①109,367人 ②204,188人 ③ 63,673人 R4	①180,000人 ②205,000人 ③100,000人
	本県の文化資源に関心を持っていると答えた 県民の割合 (宮崎県県民意識調査)	68.0% R4	70.0%
施策14	読書が好きだと答えた小中高児童生徒の割合 (県学校図書館及び読書に関する調査)	小 86.1% 中 72.4% 高 73.6% R4	小 87.9% 中 74.9% 高 78.5%
	県内公共図書館の年間貸出総数 (県立図書館調べ)	3,607,908冊 R3	4,000,000冊
	本や雑誌、新聞、電子書籍等を 1日に30分以上読んでいると答えた県民の割合 (宮崎県県民意識調査)	52.5% R4	55.0%

## 基本目標6 学校業務の改善と教職員の資質能力の向上

施策	推進指標	現状値[年次]	目標値
施策15	働きやすい環境づくりについて学校での取組が 進んでいると答えた教職員の割合 (みやざきの教育に関する調査)	小 89.9% 中 89.2% 高 81.4% 特 82.6% R4	小 93.9% 中 93.2% 高 85.4% 特 86.6%
	時間外業務時間が1月に45時間未満に該当する 教職員の割合 (教職員勤務状況調査)	校長 73.7% 副校長・教頭 13.3% 教諭等 67.9% 事務職員 92.7% R4	校長 90.0% 副校長・教頭 75.0% 教諭等 85.0% 事務職員 100%
施策16	研修など自己研鑽を通して、児童生徒の満足感を高めるための 授業改善を行っているとした教職員の割合 (みやざきの教育に関する調査)	小 96.4% 中 93.9% 高 95.9% 特 95.7% R4	小 100% 中 100% 高 100% 特 100%
	教員採用選考試験受験者総数 (教職員課調べ)	1,138人 R4	1,310人

## 基本目標7 教育効果を高める体制や環境の整備・充実

施策	推進指標	現状値[年次]		目標値	
施策 17	子供の安全確保のために、家庭や地域ボランティア等と行動連携を図っていると答えた学校の割合 (みやぎきの教育に関する調査)	93.9%	R4	100%	
	避難訓練や防災研修を地域や専門家と連携して実施していると答えた学校の割合 (みやぎきの教育に関する調査)	94.5%	R4	100%	
施策 18	家庭や地域・企業・市民団体等と連携・協働した活動を推進するための組織・体制が整備され、子供の教育支援がなされていると答えた学校の割合 (みやぎきの教育に関する調査)	87.4%	R4	89.5%	
	学校が地域の意見も取り入れながら、地域と一緒に子供を育てるための取組を進めていると答えた地域住民の割合 (みやぎきの教育に関する調査)	92.2%	R4	94.5%	
	みやぎき家庭教育サポートプログラムを活用した講座などの学習機会があったと答えた保護者の割合 (みやぎきの教育に関する調査)	51.7%	R4	56.0%	
施策 19	一貫性のある教育推進のため異校種間の連携に取り組んでいると答えた学校の割合 (みやぎきの教育に関する調査)	小 87.7%	R4	小 100%	100%
		中 92.1%		中 100%	
	高 59.5%	高 100%			
	特 75.0%	特 100%			
	現在の学校・学科に入学したことについて「よかった」と答えた高校3年生の割合 (みやぎきの教育に関する調査)	79.5%	R4	87.0%	